

I 第2次群馬県自殺総合対策行動計画 -自殺対策アクションプラン- 実施事業

1 自殺の実態を明らかにする

(1)実態把握のための調査等の実施

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自殺予防と遺族支援のための基礎調査	国の自殺予防総合対策センターが実施する「自殺予防と遺族支援のための基礎調査」等に協力する。	こころの健康センター	●	●	●		●
自殺未遂者の実態把握	救急医療機関と協力し、自殺未遂者の実態を把握する。	障害政策課				●	
自殺に関わる統計データの提供	市町村、保健福祉事務所等に自殺に関わる統計データを提供する。	障害政策課	●	●	●		

2 県民一人ひとりの気づきと見守りを促す

(1)自殺予防月間(9月)と自殺対策強化月間(3月)の啓発事業の実施

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自殺予防月間(9月)自殺対策強化月間(3月)	ポスターの掲示、講演会、キャンペーン、相談会等集中的に実施する。	障害政策課 こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村等	●	●	●	●	●

(2)自殺予防やうつ病等に関する普及啓発

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
普及啓発事業	こころの県民講座、講演会を開催するほか、自殺予防等のリーフレット等を作成し配布する。 精神保健福祉普及運動(10月)で集中的に普及啓発を行う。	障害政策課 こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村等	●	●	●	●	●
「生命を育む講座」事業	助産師が子どもや保護者に対して命の成り立ちと尊厳等を語ることで、自らの命の大切さと生きるということの意味を認識できるよう講座を実施する。(小・中学校、高校、特別支援学校 計70校)	保健予防課	●				
教育相談研修	研修や講座等において、児童生徒に「命の大切さ」を伝えるための取組を推進する。	総合教育センター	●				
ゲートキーパー養成研修	地域の見守り活動支援のため、民生委員・児童委員等にゲートキーパー研修を実施するほか、自殺予防等に自主的に取り組む民間団体や地域の実情に応じてゲートキーパー養成の取り組みを実施する。	こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村	●	●	●		
リーフレット等の作成	自殺予防啓発リーフレット、睡眠障害予防リーフレット等を作成、配布する。	こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村等	●	●	●		

(3)情報提供体制の充実

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自殺対策総合ホームページ維持管理	自殺対策ホームページを維持管理する。また、ホームページの更新を行う。	障害政策課	●	●	●	●	●

3 早期対応の中心的役割を果たす人材(ゲートキーパー)等を養成する

(1)医師等研修

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
医師等研修	かかりつけ医うつ病対応力向上研修会、アルコール対応力向上研修会等を開催する。	こころの健康センター	●	●	●	●	

(2) 地域保健・福祉関係者等に対する研修

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
地域保健・福祉関係者等に対する研修	精神保健福祉初任者研修等を開催する。	こころの健康センター	●	●	●		
	精神保健関係職員研修等を開催する。	保健福祉事務所	●	●	●		
ゲートキーパー養成研修	地域の見守り活動支援のため、民生委員・児童委員等にゲートキーパー研修を実施するほか、自殺予防等に自主的に取り組む民間団体や地域の実情に応じてゲートキーパー養成の取り組みを実施する。	こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村	●	●	●		

(3) 教育関係者等に対する研修

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
研修講座および研修支援	講義・演習等において、心の病への理解等、自殺の未然防止に向けた研修を推進する。	総合教育センター	●				

(4) 企業関係者等に対する研修

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
民間団体が開催する研修の支援	民間団体が開催するうつ病対応研修、ゲートキーパー研修等を支援する。	障害政策課	●	●	●		

(5) 自殺の社会的要因(多重債務、失業、倒産等)に関する職員への研修

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
多重債務に関する職員への研修	消費生活相談技術向上研修会を開催する。	消費生活課		●	●		
虐待予防・虐待防止のための子育て支援人材育成	虐待防止対策を推進するため、中央児童相談所が、市町村職員を始めとする子育て支援関係者を対象に研修を実施する。	子育て支援課	●				
自殺の社会的要因(多重債務、失業、倒産等)に関する職員への研修	商工会議所・商工会等の職員に対し、自殺予防に関する研修会等の情報提供などを行う。	産業政策課	●	●	●		
薬物相談窓口担当者研修	薬物問題に係る行政、司法、医療、援助の各機関職員が一堂に会し、情報共有を図るとともに、薬物問題についての研修を通じて県全体での薬物相談への対応能力の強化を図るほか、専門的対応能力養成のため、県内関係機関・団体等の職員を対象に2日間の日程で研修を行う。	薬務課 こころの健康センター	●	●	●	●	

4 心の健康づくりを進める

(1) 職場におけるメンタルヘルスの推進

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
働く人のメンタルヘルス相談	産業カウンセラーによるメンタルヘルス相談を週一回実施し、メンタル面に不安を抱えた労働者に対する支援を強化する。	労働政策課		●			

(2) 市町村等地域における心の健康づくりの推進

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
市町村・保健センター職員を対象とした研修	自殺対策市町村・保健福祉事務所担当課長等を対象に研修会を開催する。	障害政策課	●	●	●	●	●
薬物乱用防止啓発活動	薬物依存症や薬物乱用の危害等、薬物に対する正しい知識の普及啓発を行うため、各種運動や薬物乱用防止講習会等を実施し、薬物問題に対する正しい認識の普及啓発を図る。	薬務課	●	●	●	●	

(3) 学校における心の健康づくりの推進

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
児童生徒の心のケアシステム推進	県立高等学校、中等教育学校全校に臨床心理士等のスクールカウンセラーを配置し、生徒、保護者へのカウンセリング及び教職員への助言等を行う。また、緊急時などには、スーパーバイザーを派遣し、学校を支援する。	高校教育課	●				
	いじめや不登校などの未然防止、早期発見・早期対応のためスクールカウンセラーを配置し、児童生徒・保護者・教職員への支援を行い、学校における教育相談の充実を図る。	義務教育課	●				
生徒指導・教育相談にかかわる講座及び研修支援	生徒指導・教育相談にかかわる研修を推進するとともに、学校からの要請を受けて研修支援を行う。	総合教育センター	●				
教育相談研修 子ども教育支援センター事業	児童生徒の心の悩みの早期発見、対応についての研修を実施する。	総合教育センター	●				
情報モラル講習会	県警生活安全企画課と連携し、義務教育課及び高校教育課で実施学校を募り、県警生活安全企画課が学校に出向いて講習を行う。	高校教育課 義務教育課	●				
いじめ問題対策推進	県内全ての学校において、児童生徒による主体的ないじめ防止活動を推進する。	高校教育課 義務教育課	●				
「生命を育む講座」事業	助産師が子どもや保護者に対して命の成り立ちと尊厳等を語ることで、自らの命の大切さと生きるということの意味を認識できるよう講座を実施する。(小・中学校、高校、特別支援学校 計70校)	保健予防課	●				
動物愛護センター(仮称) 命の教室	犬猫の殺処分の実態を踏まえて、獣医師が小、中学校等で【命の教室】を開催し、命の大切さを小、中学生に呼びかける。 ※H27.4.1～(予定)	衛生食品課	●				

5 適切な精神科医療を受けられるようにする

(1) 精神科医療等体制の整備推進

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
精神保健福祉相談	・面接、電話等により、心の健康相談を実施する。 ・こころの健康センターにおいて、うつ病、依存症等の専門相談を実施する。	こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村	●	●	●	●	●
専門医につなげるための仕組みづくり	かかりつけ医うつ病対応力向上研修会やアルコール対応力向上研修会を開催する。	こころの健康センター	●	●	●	●	
自殺未遂者等対策	自殺未遂者こころの支援事業、自殺未遂者支援ネットワーク研修会を開催する。また、自殺未遂者調査を実施する。	こころの健康センター 障害政策課				●	
家族教室・交流会の開催	うつ病家族セミナー、依存症等の家族教室を開催する。	こころの健康センター	●	●	●		

6 社会的な取組で自殺を防ぐ

(1) 相談体制の整備・充実

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
相談体制の周知	相談機関ガイドブックを更新し周知を図る。また、自殺対策ホームページ等に各相談窓口を掲載する。	こころの健康センター 障害政策課	●	●	●	●	●
精神保健福祉相談	・面接、電話等により、心の健康相談を実施する。 ・こころの健康センターにおいて、うつ病、依存症等の専門相談を実施する。	こころの健康センター 保健福祉事務所 市町村	●	●	●	●	●
高齢者総合相談センター運営	高齢者及び家族が抱える各種問題の相談に応じ、高齢者に関する総合的な情報を提供する機関として同センターを運営する。	介護高齢課		●	●		

電話相談「こどもホットライン24」	中央児童相談所において24時間・年中無休で電話での相談や子育て支援情報の案内を行う。	子育て支援課	●					
ぐんま子育て応援したい(隊)事業(電話相談事業)	出産や育児、児童虐待、いじめなどに悩みや不安を抱える子どもや保護者を対象とした電話相談をNPO・ボランティア団体等へ委託して実施する。	子育て支援課	●					
県民労働相談センター運営	メンタルヘルス相談を実施する。	労働政策課		●				

(2) 多重債務者、失業者、無職者に対する相談窓口の充実

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
多重債務者に対する相談会	多重債務者法律相談会や生活の建て直し相談会を開催する。	消費生活課	●	●	●		
シニア就業支援センター事業	中高年齢者等を対象とした再就職相談・支援のほか、多様な就業ニーズに対応した相談や情報提供を実施する。	労働政策課			●		
群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェ)運営	若者に対してカウンセリングから職業紹介、就職後のフォローアップまで一貫した支援を実施する。	労働政策課	●				

(3) 生活困窮者に対する支援

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
生活困窮者自立支援	様々な問題を抱えている生活困窮者の自立に対応するために、包括的な相談支援を行う窓口を設置し対応します。対象者は、生活保護に至る前の生活に困窮した方。	健康福祉課	●	●	●		
生活福祉資金貸付制度	生活に不安を抱えた低所得者、障害者及び高齢者世帯の方々の経済的自立を図るため、資金の貸付けと相談支援を行う。	健康福祉課	●	●	●		
生活保護制度	資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮される方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。	健康福祉課	●	●	●		

(4) ニート状態の若者への支援等

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
地域若者サポートステーション事業	地域若者サポートステーションにおいて、ニート等の若者やその家族に対して、職業的自立を図る支援を実施する。	労働政策課	●				

(5) 経営者に対する相談体制の充実

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
(公財)群馬県産業支援機構 経営総合相談窓口	経営や金融、海外展開、経営改善等の課題に対して、幅広い知識と経験を有するマネージャーがアドバイスをを行う。また、具体的・専門的な課題に対しては、中小企業診断士や技術士等の専門家を直接企業に派遣する。	商政課		●			
中小企業の再生支援(群馬県中小企業再生支援協議会)	様々な経営上の問題点を抱えている中小企業に対して、中小企業の再建に関する知識と経験を有する専門家による相談、助言、再生計画策定の支援など、きめ細やかな再生支援を行う。	商政課		●			
経営者に対する相談体制の充実	・中小企業経営者の経営改善を図るため、商工団体が実施する巡回及び窓口の指導を支援する。 ・倒産の未然防止及び再建円滑化を図るため、商工会議所又は県連合会が実施する相談及び指導を支援する。	産業政策課	●	●	●		

(6) 薬物問題に対する相談窓口の充実等

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
薬物相談窓口事業・家族教室	薬物問題で困っている本人や家族等の関係者を対象に、こころの健康センター、薬務課、中核市保健所、県保健福祉事務所に薬物相談窓口を設置し、相談対応を行うほか、薬物問題で困っている家族を対象に、こころの健康センターで家族教室を開催し、正しい知識と本人への対応方法を学ぶ他、家族ミーティング等を通して家族の立ち直りを支援する。	薬務課 こころの健康センター 保健福祉事務所 中核市の保健所	●	●	●	●	
認知行動療法的プログラムの作成及び実施	こころの健康センターにおいて、薬物乱用者・依存症者本人及び薬物問題で困っている家族の回復支援のため、認知行動療法的プログラムを開発・実施し、医学的知見に基づく回復支援を行う。	薬務課 こころの健康センター	●	●	●	●	

(7) 様々な問題を抱える人への相談窓口の充実等

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
犯罪被害者等支援	民間支援団体に犯罪被害者等の支援業務を委託するほか、広報啓発等を行う。	人権男女共同参画課 消費生活課	●	●	●		
女性保護事業推進	女性相談センターを運営し、DVをはじめとした女性からの相談に対応するほか、必要に応じて保護を行う。	女性相談所	●	●	●		
ぐんま男女共同参画センター相談業務	女性が生活の中で抱える不安や悩みについて、専門の相談員が電話相談を中心に対応する。	ぐんま男女共同参画センター	●	●	●		
ひきこもり支援センターの設置	ひきこもりの当事者やその家族に対する相談に対応する。	こころの健康センター	●	●			

(8) 高齢者が活躍できる社会づくり

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
群馬県長寿社会づくり財団運営	高齢者の社会参加、生きがいと健康づくりを推進するために、公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団が実施する事業等に対して補助する。	介護高齢課			●		
高齢者の生きがいと健康づくり支援	単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会の自主活動の促進と健全な育成を図るため、市町村が交付する助成額に対して補助する。	介護高齢課			●		
県老人クラブ連合会補助	老人クラブが実施する事業に対する補助 ○運営費補助 県及び郡老連(4団体)の運営費を補助。 ○老人クラブ活動推進員設置費補助 老人クラブ活動の推進を図るための活動推進員3人の設置費を補助。 ○老人福祉県民大会開催経費補助 老人福祉を推進するため県民各層の参加を得て開催する大会に補助。 ○高齢者相互支援推進・啓発事業 老人クラブ会員等が地域の一人暮らし老人やねたきり老人等の家庭を訪問し、話し相手を基本とした日常生活支援等を行うと及び事業の普及啓発等を補助。	介護高齢課			●		
「ぐんまはばたけポイント制度」推進	介護保険制度を活用した「ボランティア・ポイント制度」を基本的な枠組みとした、本県独自の新たなボランティア制度の仕組みで、市町村における制度の導入、実施を支援する。	介護高齢課			●		
「ぐんま元気活躍高齢者プラン」推進	「ぐんま元気・活躍高齢者プラン」の進行管理を行うとともに、庁内各部署の連携による推進施策の協議・調整等を行う。	介護高齢課			●		
「ぐんまちよい得シニアパスポート事業」推進	高齢者の積極的な外出を促し、地域とのつながりの強化や健康維持を図るため、65歳以上の高齢者にカードを配布し、協賛店で優待サービスを実施。	介護高齢課			●		
在宅介護者への支援	高齢者が長年住み慣れた家庭や地域において生活が続けられるよう、在宅要介護者総合支援事業及び介護慰労金支給事業を実施し市町村に補助金を交付する。	介護高齢課			●		

(9) インターネット上の自殺予告等への対応

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
インターネット上の自殺予告への対応	インターネット上の自殺予告事案に対する迅速・適切な対応を図る。 また、インターネット上における自殺予告サイトや電子掲示板への特定個人を誹謗中傷する書き込み等の違法・有害情報について、フィルタリングソフトの普及、プロバイダにおける自主的措置の要請、相談者への対処方法の教示等を実施する。	警察本部生活安全企画課	●	●	●		
インターネット上の自殺関連情報対策の推進	硫化水素ガス等第三者に危害を及ぼすおそれが高い物質の製造方法を教示し、その製造を誘因する情報について、プロバイダ等に削除するよう要請を行う。 また、インターネット・ホットラインセンターへの通報について周知を図る。	警察本部生活安全企画課	●	●	●		
「学校非公式サイト等調査・監視」事業	メールやインターネット上のサイト等に係る生徒間のトラブル、安易な個人情報の流布、いわゆる「ネット上のいじめ」等への対応に係り、専門業者に検索・監視・削除などを依頼し学校の対応を支援するとともに、適切なインターネット利用に向けた生徒・保護者への啓発を行う。	高校教育課	●				
携帯インターネット問題講習会	携帯インターネット問題講習会を自校で行えるように、希望する小中学校の教員を対象に指導者講習会を実施する。	義務教育課	●				

(10) 危険な場所・薬品等の規制等

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
販売業者への注意喚起等	硫化水素等、不適切な方法により危険な物質を生じさせる事案が発生した場合は、販売事業者に対して速やかに注意喚起等の対応を行う。	警察本部生活安全企画課	●	●	●	●	
自殺のおそれのある行方不明者発見活動	従来から行っている自殺のおそれのある行方不明者に関する行方不明者発見活動を継続して実施する。	警察本部生活安全企画課	●	●	●	●	
農業危害防止運動	農業の危害を広く県民に広報啓発することにより、適正な管理を促し、健康被害(自殺目的の使用等)の発生防止を図ります。	薬務課	●	●	●	●	

7 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自殺未遂者やその家族等を対象とした相談事業	自殺未遂者こころの支援事業や自殺未遂者支援ネットワーク研修会を実施する。	こころの健康センター				●	
自殺未遂者やその家族等に対する情報提供	自治体の各種相談窓口や関連する民間団体等の連絡先等の情報提供や自殺未遂者支援リーフレット等を作成し配布する。	こころの健康センター				●	
自殺未遂者支援実態調査事業	自殺未遂者の実態を把握するとともに未遂者支援の仕組みについて検討する。	障害政策課				●	

8 遺された人への支援を充実する

(1) 自死遺族のための相談支援

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自死遺族のための相談	自死遺族相談会を開催する。	こころの健康センター					●
自死遺族等向けパンフレット	自死遺族等向けに、各種相談窓口や支援制度に関するパンフレットを作成し配布する。	こころの健康センター					●

(2) 自死遺族のための自助グループの運営支援

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自死遺族交流会の開催	自死遺族交流会を開催する。	こころの健康センター					●

(3) こころの緊急ケア活動

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
こころの緊急支援事業	学校での自殺事案が発生した場合、学校からの要請に基づき「群馬県こころの緊急支援チーム」を派遣する。	こころの健康センター	●				

9 民間団体との連携を強化する

(1) 自殺予防等に取り組む民間団体との連携

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
自殺に関わる公的機関、民間団体等とのネットワーク構築	群馬県自殺対策連絡協議会、県市町村自殺対策連携会議等を開催する。	障害政策課 保健福祉事務所 中核市	●	●	●	●	●

(2) 自殺予防等に自主的に取り組む民間団体への支援

事業(業務)名	事業(業務)内容	担当所属	主な対象者				
			若年層	中高年層	高齢層	未遂者	自死遺族
民間団体等が実施する自殺対策の支援	民間団体等が行う相談事業や自殺予防活動等を支援する。	障害政策課 こころの健康センター	●	●	●	●	●